

授業概要

「日本が東アジアの中で生き抜く」上での経済の最重要課題は何かを講義する。

アジア経済は、大きな構造転換の過程にある。その成長は、世界経済の今後を決定付けるほどに重要性を増している。授業では、この成長と変化を概観し、同時に今後の発展と課題を講義する。名目 GDP1 兆ドル以上の国は中国、日本、インド、韓国の4か国で、この4か国でアジア全体の8割以上を占めている。授業では、アジアのこの4か国に視点を置き、そこから日本のあり方を考えたい。

授業計画

第1回	アジア経済の変貌と新たな課題/アジア経済の実態について講義する
第2回	アジアの中の日本経済/日本の立ち位置について講義する
第3回	日本経済の現状と展望/日本経済をめぐる課題について講義する
第4回	日本産業と中小企業/海外生産と国内生産の行方について講義する
第5回	東南アジアにおける自動車産業の発展経路と展望/東南アジアのケーススタディを講義する
第6回	先端技術と投資競争から見た電子産業/パナソニックとシャープの事例について講義する
第7回	アジア諸国における鉄鋼業の発展と技術/鉄鋼業の発展についてケーススタディを講義する
第8回	NC 工作機械産業の共進化メカニズム/NC 装置についてケーススタディを講義する
第9回	韓国の金型産業発展/大量生産に不可欠である金型についてケーススタディを講義する
第10回	金型産業構造変革とイノベーション/日本のものづくりの在り方について講義する
第11回	中国の経済成長/党主導型開発について講義する
第12回	中国の膨張を支える対外戦略/「一帯一路」と AIIB 等について講義する
第13回	政治経済学から見た中国と ASEAN 関係/中国経済台頭と ASEAN について講義する
第14回	インドの経済発展/21世紀に存在感を増すインド経済について講義する
第15回	環境問題/中国とインドの成長の壁について講義する
第16回	筆記試験

到達目標

受講生がアジア諸国の経済を分析する方法を学ぶことを支援することが、本授業の狙いである。受講生が日本企業における「開発は日本、生産はアジア」という一元的なグローバル戦略の変化について知って貰うことを目標としている。

履修上の注意

この授業は、講義形式を中心とするが、受講者の主体的な参加を重視する。この授業で出るアジア地域の経済実態や課題について、質問や議論に積極的に取り組んでほしい。試験及びレポートの際に自筆のノートを参照するので、授業を欠席せずにノートをよくとってもらいたい。授業開始後 30 分以上の遅刻は、欠席扱いとする。

予習・復習

授業のレジュメを把握し、参考書の該当箇所と新聞・WEB サイトのアジア経済に関する記事をよく読むこと。配布した参考資料を読み、授業時に示す課題について回答レポートを作成すること。

評価方法

学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%。

テキスト

最新の情報をもとに講義を進める。だから講義の中では特定の教科書は使用しない。毎回の講義では、随時良い文献などを紹介していく。